

2023年9月17日

「キリストを知り御霊に満たされて歩む」

ローマ人への手紙 6:1-13

詩篇交読 51 篇

- ① キリストの血による罪の赦し
- ② キリストとともに死んでよみがえった
- ③ 生けるキリストにつながれている
- ④ キリストとともに生きる
- ⑤ 自分を神に明け渡し御霊に満たされて生きる

#### 1. キリストの血による罪の赦し

今日は「キリストを知り御霊に満たされて歩む」と題して、主にローマ人への手紙の5章の1部と6章前半を中心にみことばを分かち合いたいと思います。

今日分かち合いたい、押さえておきたいことは大きく分けると三つです。

- ①キリストの血は信じる人を罪の赦しとともに永遠のさばきから救われ、良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者にすることができます。
- ②古い私は死んで、キリストとともによみがえった。
- ③私たちのうちには主の御霊が宿っており、御霊に従って歩む。

#### 1. キリストの血による罪の赦し

ローマ 5:9-10 ですから、今、キリストの血によって義と認められた私たちが、この方によって神の怒りから救われるのは、なおいっそう確かなことです。敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させていただいたのなら、和解させていただいた私たちが、御子のいのちによって救われるのは、なおいっそう確かなことです。

恵みのゆえに、罪は取り除かれ、義と認められました。キリストは、どのような事実をもって、私たちの内に生きておられ、御力によってみこころに歩むことができるのかを見ていきたいと思います。

ヘブル 9:22 を開いてください。「律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。」

まず押さえておきたいのは、私たちが神に近づくには血が必要であり、私たちの頑張りがあるのかどうかではありません。御子イエスが十字架で流された血潮こそ私たちの罪を贖い、永遠のいのちを与えるのです。いや、頑張りや自己に留まることこそ、神に背き、そこに御霊はおられません。

罪の赦しのための血が流されました。神は、私たちの罪を見過ごすのではなく、血を見られます。神がその血の価値の故に赦されます。この血が私にとっていかに素晴らしく、尊いものであることを御霊によって知ります。それがいかに価値あるものであるかは、神の喜びに適うものであり、神のものであるからです。神のために流される血です。

その血が私の罪のために注がれました。神の義を満ちたらせるためには血が必要であり、神は血を要求します。そして、キリストの血は神を満足させるのです。

キリストの血と私たちの罪、罪の方が大きいと考えてしまいがちです。そのように意識してしまうものではありません。血は神がご覧になるものです。神が尊いと評価なさっているのです。キリストの血は、神を十分に満足させるものなのです。キリストの血は、神を満足させ、また、私たちの良心をきよめます。私たちの良心は汚れていて、全く新しくする必要があります。ですから、私たちはキリストとともに、十字架で死ぬしか方法がありません。

黙示 1:5 b 私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解き放ち

とありますが、キリストの血は罪から解放してくださいました。レビ記で血はいのちとあります。キリストは血を流されました。すなわち、キリストのいのちをくださいました。贖いは、キリストの尊い血によるのです。(I ペテロ 1:18-19)

また、かつてはキリストから遠く離れ、望みのないものでしたが、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者です。(エペ 2:13) そしてイエスの血によって、大胆に聖所に入り、神に近づくことができます。神との関係を失っていた私たちですが、今や、父と呼ぶことができ、近づくことができます。だから私たちは、自分は弱いと落胆していても何の解決になりません。

ローマ 5:12 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に。

罪が私たちに及ぼすものは死です。私たちを神から引き離し、墮落と汚れの中に

追いやり、高ぶりは争いを巻き起こしました。しかし、恵みによって、イエス様は、滅びの穴から引き上げ、汚れを拭き去り、真のいのちを与えてくださり、美しい義の衣をまとわせてくださいました。そして、キリスト者はキリストと霊的に一つになりました。

罪は私たちを貶めましたが、キリストは私たちを引き上げてくださいました。人が罪のために行うことは、恐ろしく忌まわしいものです。サタンは巧妙に私たちに働きかけて来て、キリストに従うことから遠ざけるよう、様々なことを行います。敵の矢は、常に飛んで来て、私たちをつまづかせ、あらゆる攻撃をしているのです。

血は罪を取り除くことがわかりました。私たち自身のうちには罪の性質があります。私たちはアダムの子孫であるが故に、その性質も受け継ぎ、それは罪の性質です。アダムの子孫である限り解放はありません。古いのちに生きなければならないのです。アダムにより、罪が入り、罪によって死がこの世に入りました。この罪がすべて子孫に死をもたらしめました。ゆえに私たちは、罪人であり、罪を犯すものであり、生まれつき罪人です。罪の性質を受け継いでいます。

ローマ 5:17 **もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人の人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するようになるのです。**

一人の違反は、死を支配し、人はその犠牲となりましたが、一人のイエス・キリストにより、いのち、すなわち復活のいのちと主の栄光にあずかります。それは恵みによるのです。アダムによって失われ、すべての人は罪人になりましたが、ここに光が注がれました。別の人イエス・キリストによって、その方の従順によって、義とされました。みなさん、神の恵みにすがっているでしょうか。イザヤ書 30:18 で「**それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待**」っておられるのです。神の恵みだけが、私たちを心の奥底から変えていくことのできる力をもっているのです。このお方、イエス・キリスト様が私たちを招き、罪からくる死から解放し、恵みと義の賜物をくださったのです。私たちは誘惑に負けてしまう弱いものです。試練が来ると、動揺してしまいます。しかし主は、「**あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこう**」と言っておられるのです。私たちは、主イエス・キリストのものなのですから、一切の不安も思い煩いもお任せして、このお方にすべてをささげようではありませんか。

## 2. キリストとともに死んでよみがえった

ローマ 6:1 それでは、どのように言うべきでしょうか。恵みが増し加わるために、私たちは罪にとどまるべきでしょうか。2, 決してそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうしてなおも罪のうちに生きていられるでしょうか。

1 節は人間の勝手な論理であり、恵みの本質を理解していません。キリストが十字架につけられ、死んだように、私たちも死にました。十字架で古い人が死んだ時に、罪に対しても死にました。罪と無関係なものになりました。ゆえに罪のうちに生きることができません。

3 それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたではありませんか。

私たちはイエス・キリストと一つになりました。キリストが死んだ時、私たちも死んだのです。II コリ 5:14 一人の人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのです。そして、I コリ 1:30 に「しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。」キリストの内にある私たちは、キリストが十字架で死に、よみがえったように、キリストとともに新しく生まれました。私たちの内にはキリストがおられるのです。御霊によってキリストと一つにされました。

## 3. 生けるキリストにつながれている

4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです。

私たちはキリストとともに葬られました。古い罪深いいのちは死ななければならず、死ぬからこそ、甦りがあります。キリストは神によって甦りました。「エペ 1:20 この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ」ました。

今日私たちは、生けるキリストにつながれています。言い換えれば、私たちの罪はすでにさばかれたのです。私たちはすでによみがえらされたのです。そして私

たちは天のものたちの中に、キリストとともに座に着いているのです。

5-7 私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。死んだ者は、罪から解放されているのです。

キリストが十字架につけられた時、私たちも十字架につけられたのです。罪の奴隷でもなく、罪から解放されているのです。

映画のベンハーをご覧になったことはあるでしょうか。ガレー船と言われる軍用船の中に、多くの漕ぐ人がおり、それを奴隷が行いますが、正確に漕げていなければ容赦なく罰せられます。ムチが飛んできます。不自由極まりない悪い環境の中、重労働を課せられて、食べるものをあまり与えられず、衰えると死んでしまう人もたくさんいたようです。もし、彼らにとって奴隷制度が終わり、解放されたらどうでしょうか。私たちは罪の奴隷となっており、以前はそれゆえ滅びの中にいました。しかし、神の怒りから救われました。私たちは、この罪から解放されたのです。このことは私たちの努力によるのでしょうか。いいえ、神によるのです。キリストのうちにあるのですから、キリストの死と復活もキリストと同じに見なされ、キリストとともに十字架につけられ、古いのちに死に、キリストとともに新しい（罪のない）いのちに甦ったのです。このことは事実なのです。

アダムにあるものをすべて死に渡され、キリストとの結びつきによって第二の人であるキリストとともに甦ります。それは、神の力です。

古い自分が処理されました。恵みによってされたこの事実を喜びましょう。6節で「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられた。」とあるように、私たちはすでにキリストとともに十字架につけられ、死んでいます。私たちはキリストのうちにあるのですから、キリストが死んだ時、キリストとともに死に、古い自分から解放され、新しいいのちを得たのです。

罪を無くそうと頑張るのではなく、罪から解放されイエス・キリストによって、新しくされたことを喜びましょう。アダムによる古い人は取り除かれました。これは神の恵みによるのです。

#### 4. キリストとともに生きる

8-9 私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることにもなる、と私たちは信じています。私たちは知っています。キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはありません。死はもはやキリストを支配しないのです。

キリストとともに生きるとは、死ぬことはない、永遠に生きるということです。ヨハネ 3:36 で「御子を信じる者は永遠のいのちを持っている」とあるように、永遠のいのちは、キリストを信じた瞬間に持つものであり、今現在持っています。そして、ヨハネ 17:3 で「永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。」とあり、キリストを知ること、すなわち、キリストと一つになることです。

10-11 なぜなら、キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。同じように、あなたがたもキリスト・イエスにあって、自分は罪に対して死んだ者であり、神に対して生きている者だと、認めなさい。

ただ一度とあります。キリストはその死において、決定的な勝利を得られたのです。キリストは罪に対して死なれました。私たちの罪の身代わりとなって、死にました。そして、生きているのは、神に対してです。私たちも同じです。罪に対して死に、キリスト・イエスにあって生きたものです。

#### 5. 自分を神に明け渡し御霊に満たされて生きる

12-13 ですから、あなたがたの死ぬべきからだを罪に支配させて、からだの欲望に従ってはいけません。また、あなたがたの手足を不義の道具として罪に献げてはいけません。むしろ、死者の中から生かされた者としてあなたがた自身を神に献げ、また、あなたがたの手足を義の道具として神に献げなさい。

罪に支配させて、欲の思うままに生きてはなりません。

そうではなくて、自分自身を主に明け渡しましょう。

従順は神を喜ばせますが、不従順は神を悲しませます。私たちは神の宮であり、自分のものではありません。故意に御霊の促しを無視するなら、御霊を悲しませます。

ダビデが心に隙が生まれた時、夕暮れ時に起きて誘惑を受けた時、姦淫の罪を犯し、それは殺人の罪も犯すことになり、自分の背きを知った時、彼は苦しみました。

た。そして、家族に悲惨な出来事が後におきました。罪の刈り取りをしたのです。「詩篇 51:9 御顔を私の罪から隠し、私の咎をすべてぬぐい去ってください。」と祈りました。

皆さんは絶望したことがあるでしょうか。私は、何度もあります。例えば、経済的なこと、子供のことで、それ以上に神に従えてない自分です。罪は何を私たちにもたらしたでしょうか。それは絶望であり、また、死です。

ある時、私が御霊に満たされるよう祈っている時、墮落と汚れと背きと高ぶり、また、不信仰も示されました。神様は私に罪を見せてくださり、恵みによらなければ、全く神に近づけないものであり、神様の前に出られるものでないことをますます知るようになりました。

家族のこと、仕事のこと、経済のこと、そして伝道と、思い悩んでしまう時、何でだろうと考えてしまうことはないでしょうか。そこで落ち込んだり、思い煩ったりします。また、安心している時、上手くいった時、私たちの心に隙が生まれます。その時、神ではなく、自分の欲を選び、罪を犯してしまいます。罪は私たちが聖霊に満たされるのを妨げます。神の命令に従うことだけが、御霊が自由に働かれるのです。

自分で何とかしようと思ったのに、逆に主は私を弱くされました。私はその時、キリストの血によって罪は赦されている。キリストは私のうちにいる。古い自分はキリストとともに死んだ。キリストが復活したように私も復活し、新しいのちを生きている。敵の攻撃は止まないが、キリストの血によって勝利している。という事実を認め、だからこそ自分を明け渡し、御霊によって歩もう。と決めました。そのことに集中すべきです。

ダビデは、詩篇 51:10 で「神よ私にきよい心を造り、揺るがない霊を私のうちに新しくしてください。」と祈りました。ここの造るはヘブル語の「パーラー」で創世記 1:1 の「はじめに神が天と地を創造された」と同じ創造的な行為を表わすもので、きよい心を神が造ってくださることの信仰告白です。神様は私たちの古い心をお用いになることはありません。新しい心を与えたいと願っておられます。

Ⅱコリ 5:17 で「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」私たちは、罪人として生きていましたが、キリストにあって新しくされました。キリストと一つです。

イエス様は次のように言われました。ヨハネ 5:24「わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことなく、死からいのちに移っています。」もはや、アダムによる墮落したものではありません。キリストの内にいるのです。

キリストとともに死から甦り、キリストの内にいる私たちには、聖霊が宿っていません。聖霊は離れることはありませんが、聖霊は悲しまれることもありますし、聖霊の働きを消してしまうこともあります。それでは聖霊の働きを体験することはできません。

ルカ 11:13 天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。

キリスト者は、熱心に神の義と愛を求め、みことばに取り組み、研究し、すべてのことにおいて神に従いましょう。そして、このイエス・キリストを熱心に人に伝えましょう。御霊に満たされるとは、私たちの歩むすべての事柄に、生活に御霊の力が働かれることです。それは、実りある証しとなります。

\* 罪の赦しについて分かったことを分かち合いましょう。

\* 神の恵みとは、あなたにとってどのようなものですか、分かち合いましょう。